

ダリマナ

～ 南の風 ～

校長室日記

平成 31 年 4 月 26 日 (金)

第 16 号

『平成』→『令和』 時代の終わりと始まり



間もなく、「平成」の時代が終わり、新しい元号「令和」の時代が始まろうとしています。西暦に対して、和暦とも呼ばれる元号の始まりは、飛鳥時代の孝徳天皇の御代「大化」まで遡ります。その最初の元号である「大化」が制定されて以降、これまで 247 の元号が制定されてきました。明治以降は、皇位を継承する際のみ、改元することが定められました。一方、明治以前には天災

や飢饉、疫病や彗星の出現など不吉な出来事があった際にも、度々改元されていました。

元号は、特定に時代を表す呼称として、日本の歴史に深く根付いています。「応仁の乱」「明治維新」などの歴史的出来事や、「天平文化」「元禄文化」など、その時代の文化や思潮を表す呼称として欠かせないものです。

「平らかに成る」という意味の「平成」には、平和が達成されるという願いが込められていました。新しい元号「令和」の時代を夢と希望を持って迎えたいものです。

新元号「令和」の 2 文字が持つ意味

「令」・・・「神のお告げ」「上位者の言いつけ」「おきて」「清らかで美しい」「立派にする」

「和」・・・「まるくまとまった状態」「日本」「声や調子を合わせる」「プラスする」

「学習研究社の学研新漢和大字典」より

ゆったり平和な令和に

「発言」(中日新聞)より

新元号は舞台の袖で満を持している。

コンビニの 24 時間営業はもはや必要なく、スマートフォンもこれ以上進化しなくてもいい。便利さが人を忙しくさせているのだから。時間がゆったりと流れるのを感じられればいい。文明の利器を否定するつもりはないが、絶対に失ってはいけない大切なものだってある。

人と人とが顔を合わせて話すときの安心感は何ものにも代えがたいものだと思える。子どもが塾通いや不審者を気にせず外で自由に遊び、「母ちゃんが晩ご飯を作っている。そろそろ帰ろっか!?!」と岐路に就くぐらいのおおらかで平和な世にしていきたいものだ。私自身も昭和、平成、令和と時代を超えて人生の旅を続けようと思う。

竹中 麗司 (岐阜県神戸市=会社員・56 歳)

※『令和』、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」時代にしたいものですね。

♥ Happy Birthday 4/26・梅木 風遙さん 5/5・下村 奏太郎君